

平成 26 年度 第 1 回運営委員会議事録

- 日 時 : 平成 26 年 4 月 9 日 (水) 18:00~20:00
- 場 所 : ひらかた環境ネットワーク会議 (サプリ村野 2F 研修室)
- 出席者 : 伊丹、井上、末岡、竹島、田中靖、谷口、豊高、丸井、山田
- 欠席者 : 鎌田、田中晃、
- 議 長 : 井上 議事録作成 : 事務局
- 配布資料 : ・平成 25 年度事業報告書 (案)
・平成 25 年度事業会計活動計算総括 1・2
・平成 26 年度事業会計収支計画総括・収入予算表
・第 13 回(3 月)自然エネルギー一部会報告
・第 12 回 まちづくり部会議事録

1. 報告事項

(1)事務局報告

①環境総務 運営委員の交代について

前運営委員の上武氏が枚方市の人事異動で部長になられたことに伴い、新年度より、上武氏に替わり、枚方市環境保全部次長山田氏が運営委員になられた。

～山田次長 挨拶～

②地球温暖化対策推進チーム報告

○我が家のエコノート・エコチェック DAY 報告書・

現在、見本のような形で進めている。(見本の回覧)

(主な意見)

・キャラクターの写真よりスタッフの写真をもう少し大きくしてほしい。→了解した

③ 事業会計収支総括・活動計算総括

・今年度の単年度収支は資料の通りマイナスとなった。しかし、前年度繰越金と合わせ、最終的に約 190 万 8 千円の繰越となった。

・また、事業収入で大きな差異が生じているのは、委託事業費が後払いであるためである。

④今年度事業報告書・次年度事業計画書

添付の事業報告書、または計画書について、意見があればお願いします。

(主な意見)

・公共交通部会の交通タウンマップ作製事業や、スタンプラリー、写真公募などをまとめてモビリティマネジメント事業でくくりその中で、各個別事業を展開するというようにした。

・国土交通省の補助金事業で、地域の多様な関係者が協働した地域の公共交通の確保・維持、利便性の向上等、地域公共交通の計画策定や、地域ぐるみによる利用促進の取組みを支援する「地域公共交通確保維持改善事業」がある。松村先生が枚方市に対して、この事業に取り組んではどうかと提言を行なっている。もし枚方市がこの事業に取り組むということになれば、環境ネットワーク会議(公共交通部会)が、関わっていきたいと考えている。

・まちづくり部会の事業で、まち並みフォトラリーイベント事業とまちなみ保存推進事業

は、内容が同じなので2つの名前の整合性をとってほしい。→了解した。

- ・まち美化推進事業で、花の提供先は書いてあるが、提供した樟葉校区コミュニティについてはかかれていないのは片手落ちである。どこどこを結んだのかを明記すべきである。→配慮した表記にする。

(今後の予定)

事業報告書及び事業計画書の最終確定については、加筆修正を下記の手順・日程で、メールにて行うので、各自きちんと目を通し最終確認に向け協力をお願いしたい。

16日(水) 第1案を送付

21日(月) 各委員からの加筆修正案締め切り

25日(金) 修正後再送付

28日(月) 承認の返信

30日(水) 各理事に発送

(2)部会報告

①自然エネルギー部会報告

ソーラー発電施設の設置候補地であった、穂谷地区の土地は、NPO法人には貸せないという地域の考えを受け、新たな場所を検討する。尚穂谷地区の当該地については、上武氏個人がソーラー発電施設を設置する予定との報告があった。

②まちづくり部会報告

花いっぱい運動事業で、4月29日の樟葉のお祭りに花を提供する。

(主な意見)

- ・花がいつ、どれくらい必要なかを早めに連絡してほしい。→毎回連絡が徹底されていないので、今回に限らず、きちんと連絡をするよう要請があった。

③公共交通部会報告

- ・4月5日土曜日に第17回バスのってスタンプラリーを行った。今回の参加者は、293名で過去最高の参加者だった。天の川ブースでは、自転車発電体験もたくさんの人にしてもらった。入会の勧誘もたくさん行ったが入会には至らなかった。
- ・回収したアンケートを読むと、「楽しかった」という答えがほとんどで、「楽しくなかった」という答えはなかった。この結果を見ると、これからも続けていきたいという気持ちになった。
- ・今回の異動で、長年担当して下さっていた井岡さんから、新しく友田さんに替わった。

2. 協議事項

①運営委員長の選出

次回理事会に候補者を提案するにあたり、丸井理事が推薦され、運営委員長候補者となった。

②総会および10周年記念事業について

前回の運営委員会で10周年事業について話し合い、記念品として、会報誌のバックナンバーをDVDにやいたものを、会員や関係各機関、事業者に配布し、記念式典は立食パー

ティ形式で簡単に行うこととなっていたが、今一度白紙に戻して、一から具体的にどうするのか、また、毎年行っている総会後の交流会はどうするのかを改めて検討してほしい。
(主な意見)

- ・ 10周年記念事業と総会をセットで考えた方がいい。
- ・ 記念事業は、今までお世話になった方々をお招きし、交流を主としたい。
- ・ 総会は、環境ネットワークの活動に重きをおくものであるべきである。総会は、現会員が来られるので、もっとこんな活動をしたいなどの話や何か情報や知識を持って帰ってほしい。
- ・ 交流会を2回するのはしんどい。
- ・ 総会は、交流会なしでもいいのではないか。活動は、5人集まったら、部会をつくって活動できるのだし、情報提供は会報誌などで行っているのだから、交流会をしなければいけないことはない。
- ・ それなら、総会への出席者が減る。今年は来ても、来年からは来ない。
- ・ 総会にしか来ない人もいるので、コミュニケーションの場ととらえることも必要である。会員の方に帰属意識を高めてもらうために、こちらからの働きかけも必要である。
- ・ 総会の後、建設的でないご意見をお聞きして、何の意味があるのか。意見を言いたい人は総会に出席するだろう。
- ・ とりあえず、集まってもらうことに意味がある。
- ・ 総会を遅らせ、10周年と同じ日にする事はできないのか。
- ・ 総会は、年度の決算後、3か月以内と定められている。
- ・ 総会で出された意見が次のアクションにつながった事はあったか。
- ・ ワークショップをしたことはあるが、妙案はなかった。しかし、このままではいけないという思いは共有できた。
- ・ 来られた方に、来てよかったと思われる何かを持って帰ってもらいたい。
- ・ 今、皆が関心のあることは何かと考えたときに、一つのテーマとして「教育」があるのではないか。
- ・ 情報コーナーに掲示してあるパネルがいつも気になってきいおり、一度話を聞きたいと思っていた。総会の後は、このパネルの製作団体に来て頂いて、話をしてもらおうというのはどうだろうか。
- ・ それは、すごくいい。タイトルは、「もっと知ろう、枚方の自然」。
- ・ 10周年記念事業の方は、お世話になった方々をお招きし、感謝状を出す。部会単位で贈呈先を決める。その方たちは、会費なし。
- ・ プログラムとしては、お祝いの言葉を2人くらいにいただいて、スライドを見ていただいて、感謝状を出して、茶話会をする。次の10年に向けて、最後のあいさつを理事長にしてもらう。
- ・ 10周年記念事業は、6月号の広報に出したい。広報には、環境講座と10周年記念事業を載せてもらえるようにする。4/25日までである。
- ・ 10周年記念事業の日程は、7月5日で決定する。

- ・ 5月20日には、10周年記念パーティの案内状を発送する。

<結論>

○総会記念行事について

- ・ 今回も基本的には、意見交流会とするが、テーマ設定をしたほうが意味のあるものになる。
- ・ せっかく環境情報コーナーに素晴らしいパネルが展示されているので、これらの中で「いきもの調査会」「NPO 法人森林ボランティア竹取物語の会」に、パネルの内容についての説明や、活動の様子などを10分程度で報告してもらおうようお願いする。
- ・ その後、報告内容をもとにして、意見交流を行う。

○10周年記念事業

現時点での案として、下記の内容を確認した。

- ・ 7月5日(土)にサプリ村野で行う。
- ・ 5月20日には、10周年記念パーティの案内状を発送する。
- ・ 立ち上げの時のメンバーや、今までお世話になった方々に広く声をかける。
- ・ お世話になった方々の中から幾人かの方に感謝状を贈る。
- ・ 感謝状贈呈候補対象者については、各部会から2名程度推薦する。
- ・ プログラム
 - ・ 祝辞（2人位からいただく）
 - ・ スライド等の上映
 - ・ 感謝状の贈呈
 - ・ 茶話会
 - ・ 次の10年に向けて、理事長挨拶

<次回運営委員会>

日時：5月13日（火） 18:00～

場所：ひらかた環境ネットワーク会議 研修室

内容：10周年記念パーティについて